

平成26年6月19日

国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所

はやさき

国道220号 早崎改良 整備効果について 「安全に通行できるようになりました！」

①整備経緯

- ・ 国道220号 早崎改良事業(L=5.2km)は平成19年度までに3.8kmを
開通
 - ・ 平成26年2月1日(土) 新海潟トンネルしんかいがたを含む区間(L=0.8km)
が開通
 - ・ 平成26年3月31日(月) 歩道整備(L=1.4km)が完了
- 以上により国道220号 早崎改良事業(L=5.2km)は完了しました。

②道路利用者の声

- ・ 国道220号 早崎改良 新海潟トンネルの開通に伴う、平成26年5月中旬の道路利用者の声をお知らせします。

1. 事故の危険性が解消

- ・ 既設トンネルでは対向車とのすれ違い時にトンネルの側面にトラックが接触しないか心配だったが、気にせず運転出来るようになり走りやすくなった。(運送事業者の声)
- ・ 歩行者や自転車との事故を注意していたが、歩道が整備されたことで走りやすくなった。(運送事業者の声)

2. 走行性の向上

- ・ 以前のトンネルは対向車が気になっていたが上り線と下り線に分かれたことにより走りやすくなった。(消防署の声)

3. 歩行者の安全性が向上

- ・ 歩道が整備され耕作地やお墓まで徒歩で移動できるようになった。(地元の声)

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所
技術副所長 永利 信太郎 (内線205)
調査第三課長 沼田 英昭 (内線451)
電話 : 0994-65-2541 (代表)

道路利用者への聞き取り調査結果

■ 運送事業者の声



- 以前はトンネルが1本で、上り線(鹿屋市方面)下り線(霧島市方面)が一緒のため走りにくかったが、**上り線、下り線(新海潟トンネル)に分かれたため走りやすい。**
- 今までの海潟トンネルは対向車とすれ違う場合にトンネルの側面にトラックの天井部が当たらないか心配だったが、**開通後は対向車とすれ違うことが無いためトンネルの側面を気にせず運転できるようになり走りやすい。**
- 以前は歩道が無かったため歩行者や自転車がいたら、事故に注意していたが**歩道が整備されたことで、かなり走りやすい。**

■ バス事業者の声



- 新海潟トンネルは両側に車道より15cm程度高く管理用通路(幅1m)が設置されているため、トンネルの側面を気にしなくてよくなり、**既設トンネルに比べて走りやすい。**

■ 消防署の声



- 開通前のトンネルは上り線下り線一緒のため対向車が気になっていたが、開通後は**上り線、下り線(新海潟トンネル)に分かれたため走りやすい。**また、**歩道も整備され、さらに走りやすい。**

■ 地元の声



- 以前は歩道がなく、車が怖くて歩けなかったが**歩道が整備され、散歩したり耕作地やお墓まで徒歩で移動できるようになった。**

上記の聞き取り調査については、トンネルを利用している運送事業者、バス事業者、消防署、地元の方に聞き取り調査したものです。

上記以外に既設トンネルと比較して、新トンネルについてはカーブしていることから先の見通しが悪いことや断面が小さいとのご意見もありました。



▲ 開通前の既設トンネルの交差状況



▲ 新海潟トンネル開通後の状況

国道220号 早崎改良 概要図

